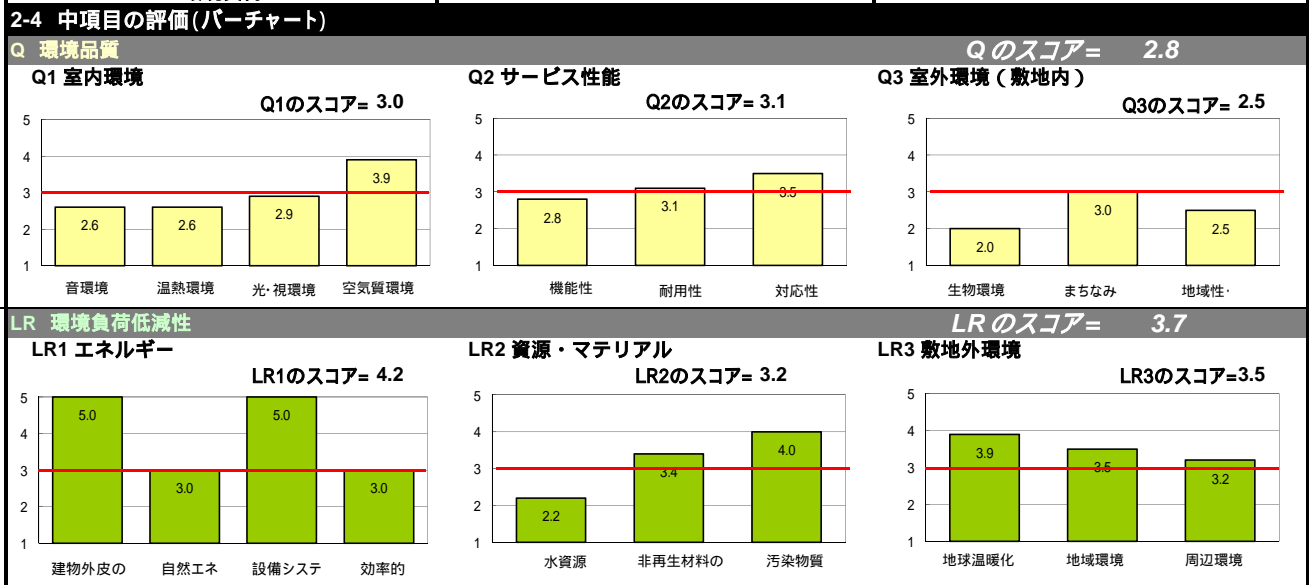
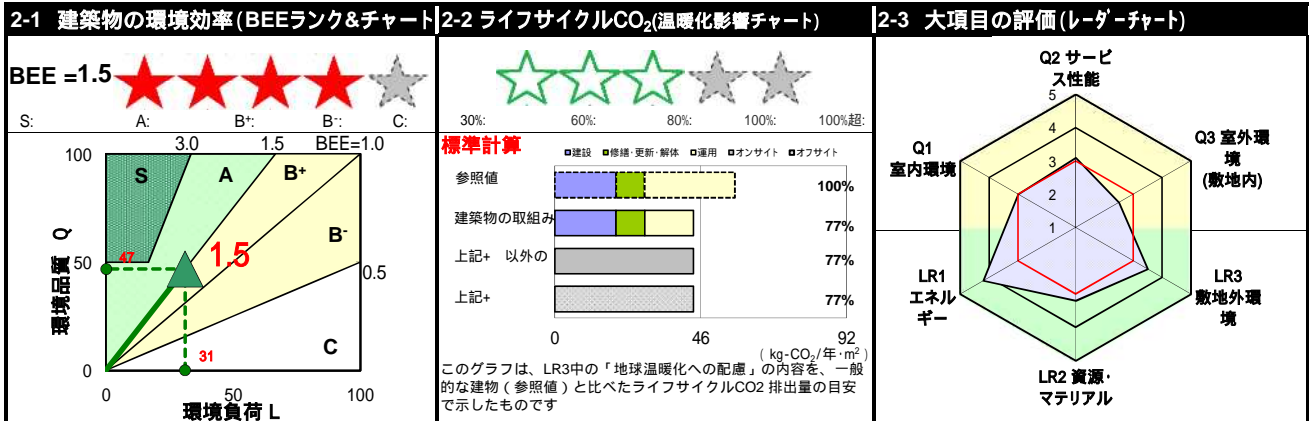
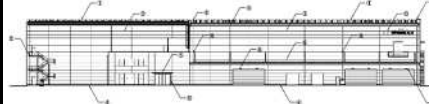


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮) アイミSSIONズパーク三芳	階数	地上2F
建設地	埼玉県入間郡三芳町大字上富428	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	116 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年9月27日
敷地面積	9,510 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	5,662 m ²	確認日	2018年9月28日
延床面積	10,895 m ²	確認者	定森淳一



3 設計上の配慮事項		
総合 ・室内環境、サービス性能への配慮を行っている。 ・外構緑化を行い、中高木、メッシュフェンスの設置等、敷地内環境への配慮を行う。 ・また、ガス設備の設置無し、光害対策等、敷地外環境への配慮を行っている。 ・高い省エネルギー性能を確保し、資源マテリアルの確保に努めている。		その他 0
Q1 室内環境 ・事務室は高い昼光率、照度を確保。 ・告示対象外若しくは規制対象外 (F 以上) の建材を使用。	Q2 サービス性能 ・高い天井高に加え、休憩室の設置等、快適性に配慮。 ・防汚性の高い建材を採用。・耐用年数の長い部品部材を採用。・高い階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりを配慮。	Q3 室外環境(敷地内) ・50%を超える外構緑化を行っている。 ・メッシュフェンス設置等、防犯性への配慮を行う。
LR1 エネルギー ・グラスウールt100等、高性能断熱材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・LED照明等、高効率設備機器を採用し設備システムを高効率化に努めている。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を活用している。 ・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。・発泡材を用いた断熱材を採用していない。	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率77%と、省エネルギー性能を高め地球温暖化防止に努めている。・ガス設備設置無し等、大気汚染防止に配慮。・光害対策のチェックリストを満たし、広告物照明無し等、光害の抑制に努めている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮)アイミッションズパーク三芳**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境					0.31		-		3.0
1 音環境				2.6	0.15		-		2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		3.0		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		3.0		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-		3.0		
1.3 吸音				1.0	0.20		3.0		
2 温熱環境				2.6	0.35		-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		3.0		
2 外皮性能				3.0	0.25		3.0		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		3.0		
2.3 空調方式				3.0	0.30		3.0		
3 光・視環境				2.9	0.25		-		2.9
3.1 昼光利用				2.4	0.30		-		
1 昼光率				2.0	0.60		3.0		
2 方位別開口					-		3.0		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		3.0		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		3.0		
3.3 照度		事務室500lx以上		4.0	0.15		3.0		
3.4 照明制御				3.0	0.25		3.0		
4 空気質環境				3.9	0.25		-		3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		告示対象外若しくは規制対象外(F 以上)の建材を使用		4.0	1.00		3.0		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		3.0		
2 自然換気性能				3.0	0.33		3.0		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		3.0		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙となっている		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		3.1
1 機能性				2.8	0.40		-		2.8
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		3.0		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		3.0		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		1階事務室天井高3.0m、窓設置		5.0	0.33		3.0		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1.6%確保		4.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材の採用		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30		-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニルクロス貼20年		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種がB以上、Eは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.9	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	事務用途階高:3.65m、工場用途階高7.65m	4.9	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.07	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.66	5.0	0.01	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.54	5.0	0.62	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン(路盤材)、ビニル床材(床材)	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS下地、OAフロア採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のプライマー採用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡材を用いた断熱材を採用していない	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		ガス設備設置無し	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮)アイミッションズパーク三芳	BEE	1.5	BEEランク
------	------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.9	+	2.6	=	6.5
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.9
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
・LCCO ₂ 排出率77%と、省エネルギー性能を高め地球温暖化防止に努めている。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
・50%を超える外構緑化を行っている。			

: 入力欄